

平成24年度当初予算のあらまし

平成24年度の伯耆町一般会計及び特別会計の当初予算の概要をお知らせします。

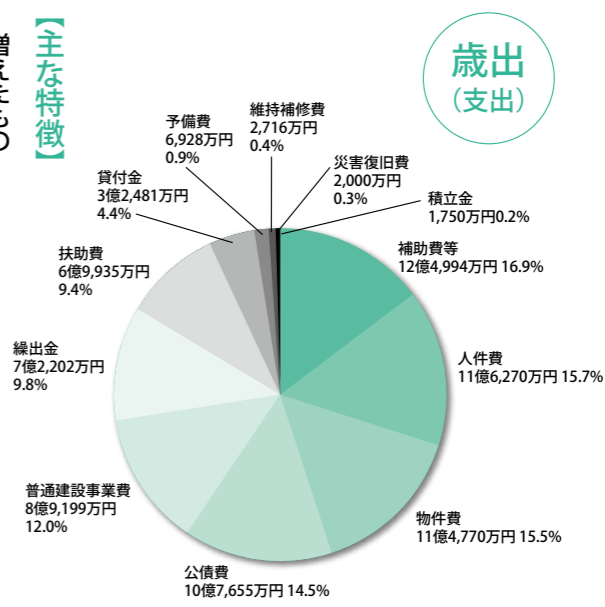
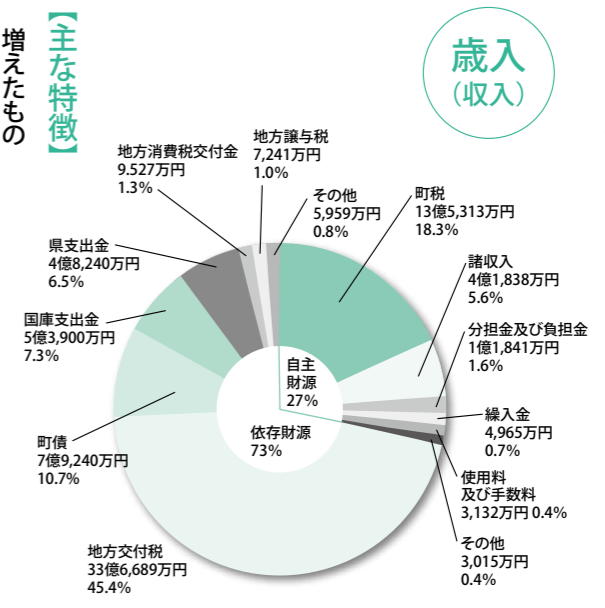
1. 一般会計

平成24年度の伯耆町一般会計の当初予算は、合併後最大となった前年度に次ぐ予算規模となりました。

高い公債費(返済金)負担や社会保障経費の増大など厳しい財政状況が続く中、防災や健康づくりなど町民生活の向上に結びつくような事業を重視しながら、地域の可能性を見据えた中長期的な視点による予算編成を行いました。

《当初予算額》

平成24年度	74億 900万円
平成23年度	76億9,100万円
比較	△2億8,200万円 (△3.7%)

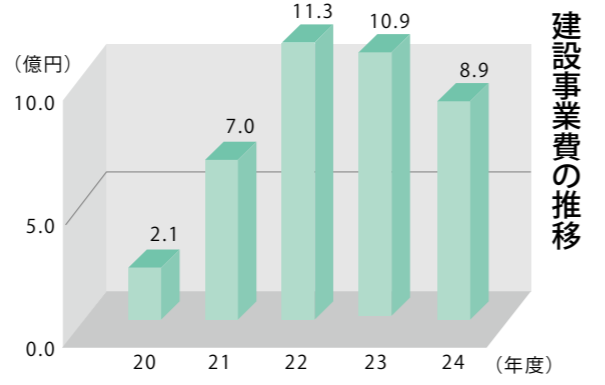


- 【主な特徴】
- 年少扶養控除の廃止などにより、町民税を中心に町税が3,240万円増加
 - 特別交付税の増(福祉事務所分など)により、地方交付税が2,241万円増加
 - ケーブルテレビ施設の貸付収入(有線テレビ放送特別会計廃止に伴う移行)などにより、財産収入が2,038万円増加
 - 減ったもの
 - 子どものための手当制度改正などにより、国庫支出金(国からの補助金など)が1億1,443万円減少
 - 雇用対策事業の変更などにより、県支出金(県からの補助金など)が5,166万円減少
 - 水道監視装置整備の完了などにより、繰入金(基金からの取崩など)が5,165万円減少
 - 建設事業の減などにより、町債(借入金)が8,860万円減少

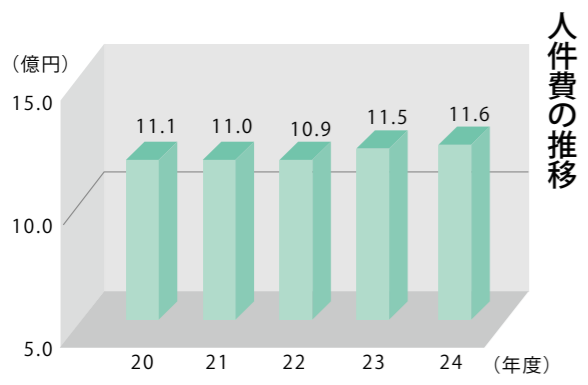
- 増えたもの
 - 共済組合負担金の増額などにより、人件費が5,432万円増加
 - 公共施設の老朽化に伴い、維持補修費(施設修繕料など)が774万円増加
 - 緊急な災害に備え、災害復旧費が1,700万円増加
- 減ったもの
 - 備品購入費の減(公民館改修など)や雇用対策事業の変更などにより、物件費(賃金・委託料など)が3,303万円減少
 - 西部広域負担金の減などにより、補助費など(負担金・補助金など)が4,480万円減少
 - 有線テレビ放送特別会計の廃止などにより、繰入金(基金)が7,997万円減少
 - 過去に行った繰上返済などにより、公債費(返済金)が1億5,038万円減少

主な経費などの推移

(20~22年度は決算額、23年度は3月補正後予算額)

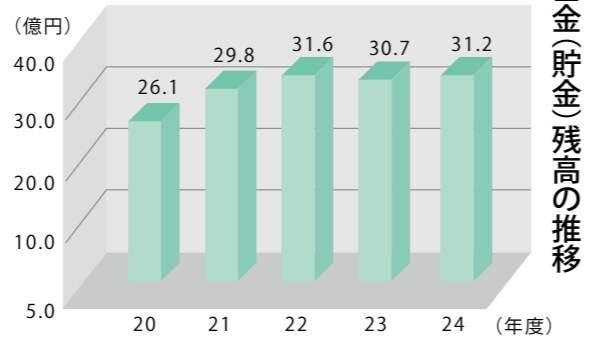


22年度以降、緊急経済対策や学校の耐震改修などによって、事業費が高い水準で推移しています。24年度は、各学校施設の耐震等改修や町道大倉線改良などを行います。



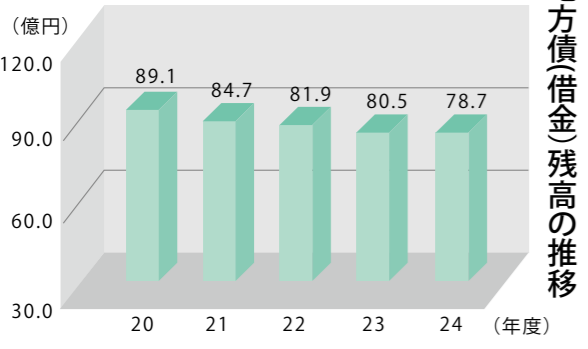
合併以降、職員数の減や給料カットなどにより減少が続いていましたが、23年度から共済組合負担率の改定などを原因に増加しています。

基金(貯金)残高の推移



将来の財政負担に備え、基金の積み立てを行っています。24年度は、利子分の積立や借入金の返済に充てるための取崩などを予定しています。

地方債(借金)残高の推移



借入の抑制や繰上返済により、借金残高は減少傾向にあります。24年度は約7億9千万円の借入と約9億7千万円の(元金)返済を予定しています。

平成24年度当初予算での主な事業

新たな事業を中心に当初予算に盛り込まれた事業を紹介します。

地域産業・経済の活性化

- 全国どぶろく研究会大会開催支援【新規】 517万円
大会運営費・イベント会場整備費などを支援。
- 大山山麓リゾート観光・田舎ものマッチング事業【継続】 438万円
都市部での販路開拓などを目的に、地元産品の集配やイベント出展などを行う。

廃棄物減量化推進事業【継続】

- こしがが丘エコロジー公園(仮称)整備モデル事業【新規】 663万円
環境美化活動や家庭生ごみ減量化処理などを行う公園の整備費などを支援する。

環境に配慮したまちづくりの推進

- 太陽光発電システム助成事業【拡充】 1,920万円
住宅用太陽光発電システム導入費の一部を助成する。災害時のエネルギー確保など、防災面を重視し事業費を拡大。(事業費前年比14.2%)

協働のまちづくりの推進

- 地域づくり団体全国研修交流会開催支援【新規】 47万円
住民団体が主体的に実施する全国研修交流会(分科会)の運営などを支援する。
- 日光地区交流促進事業【新規】 41万円
地元で栽培している野菜の収穫体験や交流イベント開催の支援。

子育て環境の充実

- チャイルドシート貸出事業【拡充】 41万円
6歳未満の児童の保護者へ、チャイルドシートの貸出を行う。不足シートの補充を行い、事業の充実を図る。(ふなせと納税活用事業)

